

新型コロナウイルスの影響により、地域活動の自粛、社会参加の機会が減少し、「楽しみの場がない」「誰とも会話しないう日が続いている」等の声が聞かれます。

こうした状況の今だからこそ、他市町村の事例を通して、新しい生活様式に応じた居場所・見守り活動について学び、人とのつながりの大切さについて一緒に考えませんか。



コロナ禍での 人とのつながりの大切さ

～他市町村事例からみる居場所・見守り活動の工夫～

日時：令和3年12月9日（木） 19時～20時40分（予定）

会場：うきは市総合福祉センター 大会議室

（うきは市吉井町347-1 うきは警察署西側）

◆事例報告（オンライン）

報告者

- ①岡山県 倉敷市社会福祉協議会 地域福祉課 主幹
第1層生活支援コーディネーター 松岡 武司 さん

*独自のツール“つながる回覧”の活用等、新しい生活様式に合わせた“心をつなぐ”活動に取り組みましたお話

- ②徳島県 美馬市社会福祉協議会 地域福祉課 主幹 佐藤 芳美 さん

*話し合いを重ね、屋外型サロンに切り替え、つながりを絶やさない工夫をしたお話

◆講演「コロナ禍での人とのつながりの大切さ」

講師：さわやか福祉財団 九州1ブロックリーダー 阿部 かおり さん

- *会場入り口での手指消毒、マスクの着用にご協力ください。
- *感染状況等により、内容の変更及び延期・中止する場合があります。
あらかじめご了承ください。

申込み必要

締め切り
(12/3 (金) まで)

参加費無料

【申込み・問い合わせ先】 社会福祉法人 うきは市社会福祉協議会
うきは市吉井町 347-1（うきは警察署西側） TEL：76-3977